

菅野 益枝さん (関根・松塚)



ブロッコリーやワサビなどを生産する農家でしたが、現在田畑は太陽光発電や水田放牧の用地になっています。避難指示解除と同時に帰村しました。

母と夫婦3人で仮設住宅に避難しました。母はジワリジワリと体調がおかしくなり避難中に6回も入院。そして避難指示が解除になると決まったら、「帰りたい」の一点張りでした。村に帰ってひと月；その後40日ほど入院して亡くなってしまいました。

夫は農業を捨て切れなくて、福島市に畑を借りて、行者ニンニクをつくっていました。村で暮らすようになり、今は畑を引越中。私も夏の草刈りや出荷の時期には手伝います。夫はトレーニンダジムにも通っていて、「お前も

好きなことをやっていたいぞ」と言われて、私はガーデニングを始めました。他にもやりたいことはいっぱい；でも気持ちの追いつかないんです。娘がキーボードを出してくれて、それは1日1回触ってみるようになっているのですが、習っていた水墨画を描いてみようとなつてしまふ。家族がバラバラになつたショックが残っているせいなのか、母も亡くなりぽっかり穴があいたように思うしね。震災前は、息子夫婦と孫3人と家族8人にぎやかでしたから。仮設も村の人ばかり

で、周りの人にお世話になっていました。でもね、7年もあそこにしたのかなと思うと、今では信じられないようは気がします。娘の子どもが飯館中学校の3年生で、スクールバスが行き帰り通る時、家のテラスで手を振っています。手を振れない日が少し続くと「大丈夫？」と電話をくれる孫です。母親思いの素直な子で、卒業してバスに乗らなくなつたらさびしくなりそうです。松塚は、田を中心にした輪になつている集落。父が脳血管性の認知症になつて歩き回った時期には、地区の皆さんが農作業をしながら見守つてくれました。次々に隣に電話をかけて「今そっちに歩いているから」と伝言して。本当にいい集落なんです。

おしえてくんちえ！堀先生

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談 自分勝手と思われるのが怖くて、本当に思っていることを言えないです。

堀先生

「自分が本当はどうしたいのか」分からない人は少なくありません。「自分勝手な人」と思われるのが恥ずかしくて、自分の願いを人に伝えるのを我慢してしまうことは、よくあることなのです。

「自分勝手」なのと「自分がある」のとはどこが違うのでしょうか。それは、行動の結果の責任を、自分が引き覚悟があるかどうかです。「口出しするけど、その責任を引き受けるつもりがない」と、まわりは困ってしまうかもしれません。きちんと発言して、良いことも悪いこともその責任を引き受ける気持ちがある人は、「自分がある」立派な人です。



精神科医 堀有伸先生
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで



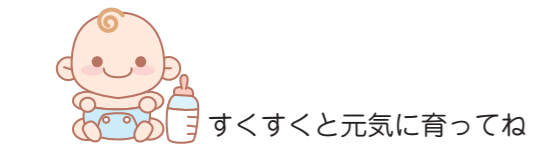
本当の奇跡とは

「宝くじで1億円当たった」「お金持ちの男性と結婚出来た」こういう出来事を人は「奇跡」といいます。でも、奇跡というものは、実はもっともっと静かで穏やかなものの中にあるということが分かりました。それは東日本大震災や原発事故、そして近頃「忘れないうちに次々とやってくる」いろんな災害が、そのことに気づかせてくれているのではないのでしょうか。「屋根のある家で布団に寝られる」「温かいお風呂に入れる」「おいしい食事を一緒に食べられる」；そんなことは当たり前のことと思っていたが、正に奇跡に近いことだったと気づいた方が多かつたはず。何気ない日常こそが奇跡であり、そのことに気づかないまま、あるいは見つけられないまま、過ごしているというのでしょうか。私たちは不幸にも、全村避難という災難に遭ってしまつて、当たり前の生活が「奇跡に近いものだ」「とつてもありがたいものだ」ということに気づく心を持つてるようになってきました。でも、人間って、誰しも忘れがちです。それで飯館村では1年に1度、これから先、3月11日を「あたりまえをありがとうと思う日」にしようとしたところ。避難生活7〜8年になって、ようやくそのように思えるようになったといつてよいでしょう。これから先、私たちの人生はまだ続いていきます。一方、東日本大震災や近頃の災害で命を亡くした方がいっぱいおられます。少しでも当たり前の日常生活に感謝の思いをもって過ごしていくことが、亡くなられた方への私たちの「責務」であり、また「亡くなった方の願いや思いを継ぐ生き方」になりはしないでしょうか。

平成30年10月9日 飯館村長 菅野 典雄

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
菅野 陽 慈くん	公貴・真美	小宮
菅野 海 花ちゃん	晃司・舞	佐須
中島 笑 茉ちゃん	祐介・由香	比曾



ひとのうごき		9月1日～30日までの人口動態	
(平成30年9月30日現在)		◆◆人口動態◆◆	
人口	今月 (前月比)	転入	2人
男	2853人 (-14)	転出	19人
女	2870人 (-12)	出生	0人
備計	5723人 (-26)	死亡	9人
世帯数	1814戸 (-4)		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
石井 定雄	92	白石
石川 石子	82	佐須
菅野 義平	77	比曾
熊久保 文夫	89	伊丹沢
高橋 スギノ	101	関根・松塚
高野 孝	90	前田・八和木
川里 留三郎	85	宮内
菅野 次男	95	佐須
佐々木 早苗	86	二枚橋・須萱
菅野 満春	52	深谷
田村 ヒサ子	91	比曾
大久保 キミノ	91	宮内
伊藤 光一	91	上飯樋
高倉 弘子	57	前田

ご冥福をお祈り申し上げます
(9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。